

教科名	国語	科目名	国語総合	単位数	4	対象	HR11～HR16
担当者	A組：HR11・12 B組：HR13・14 C組：HR15・16 (堀口 淳二) (高野 亜里) (太田 遥香)						
使用教科書		使用教材				年間授業時数	
精選国語総合 (東京書籍)		新版三訂カラー版新国語便覧 (第一学習社) しっかり書いて意味で覚える漢字トレーニング(いっずな書店) 精選国語総合学習課題ノート(東京書籍)				140	
学期	月	指導内容		指導目標		時数	
1 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> 筆者のものの見方や感じ方、表現の特色に注意して随想(随筆・エッセー)を読む。(随想「届く言葉」) 		<ul style="list-style-type: none"> 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の下かを考えて読むことができる。 常用漢字の大体を読み、書くことができ、文や文章の中で使うことができる。 		49	
	5	<ul style="list-style-type: none"> 日常の中の思いがけない発見について随筆を書く。(言語活動「随筆を書く」) 古文と現代文との違いを知り、古文を読む基礎となる文語のきまりを理解する。(古典「児のそら寝」) 		<ul style="list-style-type: none"> 与えられた題材に即して、相手や目的に応じた材料を収集し、自分の経験や意見を随筆にまとめることができる。 歴史的仮名遣いを理解して、古文を正しく読むことができる。 			
	6	<ul style="list-style-type: none"> 小説に描かれた登場人物・情景・心情などを、表現に即して読み取る。(小説「羅生門」) 		<ul style="list-style-type: none"> 文章の形態(小説)における表現の特色を意識しながら読むことができる。 登場人物の行動や性格、心情の変化をとらえることができる。 根拠を示しながら自分の考えを話すことができる。 目的や場に応じて、分かりやすく適切な言葉で話したり、メモを取りながら聞き取ったりすることができる。 			
	7	<ul style="list-style-type: none"> 説話のおもしろさを味わい、古文の世界に親しむ。(古典「検非違使忠明」) 		<ul style="list-style-type: none"> 人物(誰が)、場面(いつ、どこで)、出来事(どうした)を読み取ることができる。 動詞の活用について理解することができる。 			
2 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> 表現に注意して評論を読み、本文の内容を的確に理解する。(評論「今ここにある無数の未知」) 訓読のきまりを理解し、文章の内容を的確に読み取る。(古典「訓読の基本」) 		<ul style="list-style-type: none"> 書き手の意図を的確にとらえ、表現を味わうことができる。 訓読の基本を理解して、漢文特有の読み方を身につけることができる。 		62	
	10	<ul style="list-style-type: none"> 格言や故事成語を読んで、漢文の世界に親しむ。(古典「虎借威」) 小説に描かれた出来事や登場人物の心情などを、表現に即して読み取る。(小説「城の崎にて」) 		<ul style="list-style-type: none"> 本文を書き下し文にして、現代語訳することができる。 助詞、助動詞、漢文の句法について理解をすることができる。 登場人物の行動や性格、心情の変化をとらえることができる。 			
	11	<ul style="list-style-type: none"> 小説に描かれた出来事や登場人物の心情などを、表現に即して読み取る。(小説「城の崎にて」) 歌物語に描かれた人物、情景、心情などを、表現に即して読み取る。(古典「茶川」) 		<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動や性格、心情の変化をとらえることができる。 文章に即して人物の行動や場面の描写を読み取ることができる。 			
	12	<ul style="list-style-type: none"> 表現の特色に注意して和歌を読む。 和歌に表れたものの見方、感じ方に触れる。(小倉百人一首) 		<ul style="list-style-type: none"> 百人一首のカルタ取りを通して、和歌という伝統的な言語文化に親しむことができる。 			
3 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開に注意して評論を読み、自ら考える態度を養う。(評論「生物の多様性とは何か」) 		<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開に注意して評論を読み、作者の意図を捉え、自ら考えることができる。 		29	
	2	<ul style="list-style-type: none"> 古代中国の思想について理解を深め、ものの見方、考え方を豊かにする。(「唐詩」) 		<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開に注意して評論を読み、作者の意図を捉え、自ら考えることができる。 本文を書き下し文にして、現代語訳することができる。 助詞、助動詞、漢文の句法について理解をすることができる。 			
	3						
評価の観点		趣 旨				評価の方法	
知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> 漢検4級程度の漢字の読み書きができる。 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解している。 話すこと・聞くことに必要な文の組立(又は、文章の組立て、語句の意味、語句の用法、国語の表記の仕方)について理解している。 				<ul style="list-style-type: none"> 授業内小テスト 定期考査 	
思考・判断・表現		<ul style="list-style-type: none"> 文章のジャンルごとの考え方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えている。 評論文に対する自分の意見を、根拠や理由を明確にし、順序を追って読み手に分かるよう論理的に説明している。 				<ul style="list-style-type: none"> 授業内での課題 定期考査 	
主体的に学習に取り組む態度		<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとしている。 待遇表現なども含め、目的や場面にふさわしい表現をしようとしている。 必要なことを間違いなく、過不足なく聞き取ろうとしている。 				<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 授業ノート検査 	

教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	3	対象	HR 2 1～HR 2 6
担当者	大草頰子・加藤篤志・鶴井結						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
東京書籍『新編現代文B』			新編現代文B学習課題ノート 新版カラー版新国語便覧 しっかり書いて意味で覚える漢字トレーニング			105	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	・筆者の考え方や感じ方を表現の特徴に注意して随想を読む。 (随想「さくらさくらさくら」)		・日本文化や日本人独特の感覚について書かれた随想を読み、文化の在り方や異文化理解への視点を養う。 ・和歌の学習を通して、日本の伝統的な言語文化に親しみをもち、身近なものとして理解させる。			40
	5	・評論を読み、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 (評論「生命とは何か」)		・文章を通して、人間・社会・自然などについて自分の考えを深め、発展させる。 ・文章の構成・展開・要旨を的確に把握させる。			
	6	・小説に描かれた人物の心情や人間関係を表現に即して読む。 (小説「ナイン」)		・文章を読んで、人物・情景・心情の描写・時系列などを的確にとらえ、読解に役立てる。 ・時代や環境の変化と人物の変化の関連性をとらえるとともに、変わらない友情や絆というテーマに気付かせる。			
	7	・評論を読み、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 (評論「ふしぎということ」)		・文章を通して、人間の内的問題を解決するために科学とは独立した観点が必要だとする切り口について自分の考えを深め、発展させる。 ・文章の構成・展開・要旨を的確に把握させる。			
2 学 期	9	・詩歌のリズムや表現の特色を味わいながら読む。(詩歌「一つのメルヘン」) ・書き手のものの見方、考え方を読み取る。(評論「思考の肺活量」)		・語句の意味や用法を的確に理解し、文体や修辞などの表現上の特色を捉え、自分の表現や推敲に役立てる。 ・文章の構成・展開・要旨を的確に把握させるとともに、「答えのない問題」に対峙し、自らの答えを導くことの重要性に気付かせる。			50
	10	・情景や心理描写に注意して小説を読む。 (小説「みどりのゆび」)		・話の展開を追うだけでなく、緻密な構成にも目を向けさせる。 ・文章を読んで、人物・情景・心情の描写などを的確にとらえ、読解に役立てる。			
	11	・筆者の考え方や感じ方を表現の特徴に注意して随想を読む。(随想「分からないからおもしろい」) ・描写を的確にとらえ、表現を味わう。 (短歌「信濃路」)		・筆者の職業観を的確にとらえ、「仕事」に対する自分の考えを深め、将来の就業意欲を高める。 ・短歌の学習を通して、日本の伝統的な言語文化や歴史に親しみをもち、鑑賞させる。			
	12	・評論を読み、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。(評論「安心について」)		・様々な国の文化や、文化に基づく価値観が存在することを理解させるとともに、自身の生き方について考察させる。			
3 学 期	1	・場面の展開や人物の性格・心理の描写を的確に読み取る。 (小説「こころ」)		・文学史的系譜や時代背景を把握させる。 ・精緻な構成と文章表現、心情描写にふれながら、論理的に小説を読み解かせる。			15
	2	・場面の展開や人物の性格・心理の描写を的確に読み取る。 (小説「こころ」)		・小説の内容だけでなく、人間のエゴイズムの問題に注目させ、社会の中で他者と共存して生きる上で、どう自分が生きていくのかを考えさせる。			
	3						
評価の観点		趣 旨			評価の方法		
知識・技能		・漢検3級程度の漢字の読み書きができるとともに、文章の読解に必要な語彙力を習得できる。 ・文章を読解し、内容や構成、論理などを的確に理解できる。			・授業内小テスト ・定期テスト ・課題 ・提出物		
思考・判断・表現		・目的や設問(発問)に応じて、適切に話したり書いたりすることができる。 ・文章の要旨を的確に理解し、内容の解釈や考察に役立てることができる。			・授業内小テスト ・定期テスト ・課題 ・提出物		
主体的に学習に取り組む態度		・文章の構成や展開を理解し、その論理性や筆者の意図を読み取ろうとする。 ・当事者意識を持って文章を読み、文章のテーマや取り上げられた事象を自分の問題としてとらえ、自分の人生に引き寄せて考えることができる。			・授業態度 ・提出物検査		

教科名	国語	科目名	国語演習 I	単位数	3	対象	HR21～26
担当者	太田遥香・櫻井仁美・高野亜里						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
なし			『国語必携 ライトパーフェクト演習 三訂版』（尚文出版） 『LT現代文2』（浜島書店） 『アドバンス古典 1』（京都書房）			105	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	・評論, 小説, 随筆といったさまざまな現代文分野の文章を読む ・近現代以前の古文や漢文を読む		・文章の形態に応じて, 内容を的確にとらえ, 論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばす。 ・実社会においても必要な常用漢字の読み書きや, 語句の意味, 用法などを身につけられるようにする。			40
	5	・評論, 小説, 随筆といったさまざまな現代文分野の文章を読む ・近現代以前の古文や漢文を読む		・文章の形態に応じて, 内容を的確にとらえ, 論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばす。 ・実社会においても必要な常用漢字の読み書きや, 語句の意味, 用法などを身につけられるようにする。			
	6	・評論, 小説, 随筆といったさまざまな現代文分野の文章を読む ・近現代以前の古文や漢文を読む		・文章の形態に応じて, 内容を的確にとらえ, 論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばす。 ・実社会においても必要な常用漢字の読み書きや, 語句の意味, 用法などを身につけられるようにする。			
	7						
2 学 期	9	・評論, 小説, 随筆といったさまざまな現代文分野の文章を読む ・近現代以前の古文や漢文を読む		・文章の形態に応じて, 内容を的確にとらえ, 論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばす。 ・実社会においても必要な常用漢字の読み書きや, 語句の意味, 用法などを身につけられるようにする。			50
	10	・評論, 小説, 随筆といったさまざまな現代文分野の文章を読む ・近現代以前の古文や漢文を読む		・文章の形態に応じて, 内容を的確にとらえ, 論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばす。 ・実社会においても必要な常用漢字の読み書きや, 語句の意味, 用法などを身につけられるようにする。			
	11	・評論, 小説, 随筆といったさまざまな現代文分野の文章を読む ・近現代以前の古文や漢文を読む		・文章の形態に応じて, 内容を的確にとらえ, 論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばす。 ・実社会においても必要な常用漢字の読み書きや, 語句の意味, 用法などを身につけられるようにする。			
	12	・評論, 小説, 随筆といったさまざまな現代文分野の文章を読む ・近現代以前の古文や漢文を読む		・文章の形態に応じて, 内容を的確にとらえ, 論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばす。 ・実社会においても必要な常用漢字の読み書きや, 語句の意味, 用法などを身につけられるようにする。			
3 学 期	1	・評論, 小説, 随筆といったさまざまな現代文分野の文章を読む ・近現代以前の古文や漢文を読む		・文章の形態に応じて, 内容を的確にとらえ, 論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばす。 ・実社会においても必要な常用漢字の読み書きや, 語句の意味, 用法などを身につけられるようにする。			15
	2	・評論, 小説, 随筆といったさまざまな現代文分野の文章を読む ・近現代以前の古文や漢文を読む		・文章の形態に応じて, 内容を的確にとらえ, 論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばす。 ・実社会においても必要な常用漢字の読み書きや, 語句の意味, 用法などを身につけられるようにする。			
	3						
評価の観点	趣 旨					評価の方法	
知識・技能	・主な常用漢字の読み書きができ, 日本語表現・慣用句・現代用語などを適切に使うことができる。 ・わが国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。					・小テスト ・定期テスト ・課題 ・提出物	
思考・判断・表現	・文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開を的確にとらえ, 要旨や要点を把握することができる。 ・内容や書き手の意図を解釈するとともに自分の考えを深めている。					・課題 ・定期テスト ・提出物	
主体的に学習に取り組む態度	・言葉が持つ価値についての認識を深めるとともに, 言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。					・授業への取り組み状況 ・課題 ・提出物	

教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	2	対象	HR31～HR36
担当者	大草頌子・加藤篤志・鶴井結						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
東京書籍『新編現代文B』			新編現代文B学習課題ノート 新版カラー版新国語便覧 しっかり書いて意味で覚える漢字トレーニング			70	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	論理の展開に注目して評論を読む。		・書き手が、表現したいことをどのように構成し展開しているかという、構成や展開の仕方を把握しながら読む。			28
	5	・論理の展開に注目して評論を読む ・内容の描かれ方に注目して小説を読む		・書き手が、表現したいことをどのように構成し展開しているかという、構成や展開の仕方を把握しながら読む。 ・人物、情景、心情の描写などを的確にとらえながら、描かれた内容と、内容の描かれ方とに注目しながら読む。			
	6	・内容の描かれ方に注目して小説を読む ・文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読みとる。		・人物、情景、心情の描写などを的確にとらえながら、描かれた内容と、内容の描かれ方とに注目しながら読む。 ・書き手の、人間に対する、ものの見方、感じ方、考え方を読み取り、自分の生き方について考える。			
	7	・文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読みとる。		・書き手の、人間に対する、ものの見方、感じ方、考え方を読み取り、自分の生き方について考える。			
2 学 期	9	・描写を的確にとらえ、表現を味わう		・表現に即して、書き手の意図を読み取り、表現を味わう。			35
	10	・自分の考えを効果的に表現する ・内容の描かれ方に注目して小説を読む		・自分の考えがよく伝わるよう論拠を明示するなどして分かりやすく表現する。 ・人物、情景、心情の描写などを的確にとらえながら、描かれた内容と、内容の描かれ方とに注目しながら読む。			
	11	・内容の描かれ方に注目して小説を読む ・社会について自分の考え方を深める		・人物、情景、心情の描写などを的確にとらえながら、描かれた内容と、内容の描かれ方とに注目しながら読む。 ・書き手の、社会に対する、ものの見方、感じ方、考え方を読み取り、自分の考えを深める。			
	12	・社会について自分の考え方を深める ・内容の描かれ方に注目して小説を読む		・書き手の、社会に対する、ものの見方、感じ方、考え方を読み取り、自分の考えを深める。 ・人物、情景、心情の描写などを的確にとらえながら、描かれた内容と、内容の描かれ方とに注目しながら読む。			
3 学 期	1	・内容の描かれ方に注目して小説を読む		・人物、情景、心情の描写などを的確にとらえながら、描かれた内容と、内容の描かれ方とに注目しながら読む。			7
	2						
	3						
評価の観点		趣 旨			評価の方法		
知識・技能		・漢字検定準2級程度の漢字の読み書きができ、また豊かな言語生活のために必要な語句量を獲得できる。 ・文章を読解し、内容や構成、論理などを適切に理解できる。			・小テスト ・定期テスト ・課題 ・提出物		
思考・判断・表現		・目的や意図に応じて、適切に話したり書いたりすることができる。 ・文章の要旨や要点を把握し、内容を解釈したり考察したりすることができる。			・小テスト ・定期テスト ・課題 ・提出物		
主体的に学習に取り組む態度		・多様な文章に興味を示し、自ら目的意識を持って読解や課題に取り組むことができる。 ・言葉を通して社会や他者と自らの関わりを深めようとすることができる。			・定期テスト ・課題 ・提出物		

教科名	国語	科目名	国語演習Ⅱ	単位数	2	対象	HR31～HR36
担当者	大草頌子・加藤篤志・太田遥香・櫻井仁美						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
なし			『LT現代文 LT3』（浜島書店） 『国語必携パーフェクト演習』（尚文出版）			70	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	・様々な言葉を知る ・様々な文章に親しむ		・書き手の、社会に対する、ものの見方、感じ方、考え方を読み取る ・人物、情景、心情の描写などを的確にとらえながら小説を読む			28
	5	・様々な言葉を知る ・様々な文章に親しむ		・書き手の、社会に対する、ものの見方、感じ方、考え方を読み取る ・人物、情景、心情の描写などを的確にとらえながら小説を読む			
	6	・様々な言葉を知る ・様々な文章に親しむ		・書き手の、社会に対する、ものの見方、感じ方、考え方を読み取る ・人物、情景、心情の描写などを的確にとらえながら小説を読む			
	7						
2 学 期	9	・様々な言葉を知る ・様々な文章に親しむ		・書き手の、社会に対する、ものの見方、感じ方、考え方を読み取る ・人物、情景、心情の描写などを的確にとらえながら小説を読む			36
	10	・様々な言葉を知る ・様々な文章に親しむ		・書き手の、社会に対する、ものの見方、感じ方、考え方を読み取る ・人物、情景、心情の描写などを的確にとらえながら小説を読む			
	11	・様々な言葉を知る ・様々な文章に親しむ		・書き手の、社会に対する、ものの見方、感じ方、考え方を読み取る ・人物、情景、心情の描写などを的確にとらえながら小説を読む			
	12	・様々な言葉を知る ・様々な文章に親しむ		・書き手の、社会に対する、ものの見方、感じ方、考え方を読み取る ・人物、情景、心情の描写などを的確にとらえながら小説を読む			
3 学 期	1	・様々な言葉を知る ・様々な文章に親しむ		・書き手の、社会に対する、ものの見方、感じ方、考え方を読み取る ・人物、情景、心情の描写などを的確にとらえながら小説を読む			6
	2						
	3						
評価の観点	趣 旨					評価の方法	
知識・技能	・主な常用漢字の読み書きができ、種々の日本語表現・慣用句・文学知識等を獲得できる。 ・文章やそれに対する設問を読解し、内容や構成、論理などを適切に理解できる。					・小テスト ・定期テスト ・課題 ・提出物	
思考・判断・表現	・文章の主張の論拠や根拠、また論理の展開などの検討を通して自分の考えを持つことができる。 ・文章の要旨や要点を把握し、内容を解釈したり考察したりすることができる。					・小テスト ・定期テスト ・課題 ・提出物	
主体的に学習に取り組む態度	・多様な文章に興味を示し、自ら目的意識を持って読解や課題に取り組むことができる。 ・言葉を通して社会や他者と自らの関わりを深めようとすることができる。					・小テスト ・定期テスト ・課題 ・提出物	